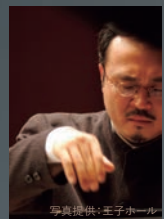
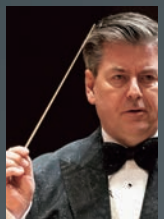


オペラに精通する名匠ヴァイグレが、苛烈な愛の交錯と悲劇を描く——シェーンベルク「ペレアスとメリザンド」



世界の檜舞台で活躍するドイツの名匠 **セバスティアン・ヴァイグレ** 常任指揮者 現代最高峰のピアニストが読響と再演 **ダン・タイ・ソン** ピアノ

ウェーベルン: 夏風の中で **モーツァルト: ピアノ協奏曲第12番** イ長調 K. 414 **シェーンベルク: 交響詩「ペレアスとメリザンド」** 作品5

読売日本交響楽団 第639回 定期演奏会 **2024 6.14(金) 19:00 サントリーホール** S¥8,000/A¥7,000/B¥6,000/C¥4,500 読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時-18時・年中無休)

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団 助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会 協力: アフラック生命保険株式会社

YNSO Subscription Concert No. 639 / Fri. 14 Jun. 2024, 19:00 Suntory Hall / Conductor= SEBASTIAN WEIGLE, Piano= DANG THAI SON / WEBERN: Im Sommerwind, MOZART: Piano Concerto No. 12 in A major, K. 414, SCHÖNBERG: Pelleas und Melisande, op. 5

この哀しみが あの人に 届いたら

読 Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra 響

空前絶後のスペクタクル!

名匠ヴァイグレが描く
巨大交響詩《ペレアスとメリザンド》

ダン・タイ・ソンが
モーツァルトで至高のピアノを披露

常任指揮者ヴァイグレが指揮台上がる6月《定期演奏会》は、古典と近代の“ウィーン”をつなぐ珠玉のプログラム。ウェーベルンとシェーンベルク、二人の新ウィーン楽派による20世紀初頭のロマンティックな管弦楽曲を取り上げ、今シリーズ最大の目玉である

ベルクの傑作オペラ「ヴォツェック」(25年3月)への鮮烈な光を照らす。さらに、モーツァルトのピアノ協奏曲では名手ダン・タイ・ソンと共演する。ドイツ・オーストリア音楽を得意とする名匠の手腕が存分に発揮されるはずだ。

メインは、シェーンベルクの「ペレアスとメリザンド」。題材となったメーテルリンクによる戯曲は、嫉妬や愛憎渦巻く人間模様を描きながら色彩豊かな自然描写に富み、ドビュッシーやフォーレ、シベリウスら同時代の音楽家たちを魅了し名作を誕生させた。シェーンベルクはこの悲恋の物語を巨大編成の管弦楽を駆使して一大交響詩へと編み上げた。ワーグナーやR.シュトラウスを思わせる濃厚なロマンティズムをたっぷり醸し出し、あらゆる楽器が複雑にモチーフを絡ませ合う巧みな管弦楽法が特徴だ。ヴァイグレもベルリン国立歌劇場管のホルン奏者時代に巨匠ギーレンのタクトに接し、指揮を志すきっかけとなった特別な作品だと語る。今や世界的マエストロとなった名匠のタクトは難解なスコアを鮮やかに解き

ほぐし、壮大なスケールと緊密な音のドラマを展開させるだろう。

前半は名ピアニストのダン・タイ・ソンが登場し、モーツァルトの傑作協奏曲を披露する。戦災を経てショパン国際コンクールでアジア初の優勝を果たしたエピソードはあまりにも有名だが、時代は巡り近年は同コンクールで優勝したブルース・リウの師匠としても注目を集め、新たな伝説を築き上げている。その内面に迫るピアノニズムはますます芸術性を深め、国内外の音楽家や愛好家たちを惹きつけてやまない。約30年ぶりとなる今回の共演では、モーツァルトが新天地ウィーンで活動を始めたばかりの意欲作を演奏する。美しい旋律を歌い上げ、透明感あふれる音色を紡ぎ出して、会場は至高の響きに包まれるだろう。

冒頭は、ウェーベルンの「夏風の中で」で幕を開ける。「大管弦楽のための牧歌」の副題にあるように後期ロマンの分厚い響きのなかで、細やかな音色の綾がプリズムのごとく光彩を放つ。初夏にふさわしい、さわやかな風を吹かせてくれるだろう。

セバステイアン・ヴァイグレ

常任指揮者

2019年4月から読響第10代常任指揮者を務めるドイツの名匠。ベルリン生まれ。1982年からベルリン国立歌劇場管の首席ホルン奏者として活躍後、指揮者に転身。2003年に雑誌『オーパンヴェルト』の「年間最優秀指揮者」に選ばれた。04年から09年までバルセロナのリセウ大劇場の音楽総監督を務めた。08年から23年までフランクフルト歌劇場の音楽総監督として手腕を発揮。同歌劇場は『オーパンヴェルト』の「年間最優秀オーケストラ」や「年間最優秀歌劇場」に輝くなど高く評価された。パイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭、ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ベルリン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場、ベルリン放送響、ウィーン響などで活躍している。



ダン・タイ・ソン ピアノ

「真の音楽家」と称えられ、世界中を魅了する現代最高峰のピアニスト。ベトナム・ハノイ生まれ、モスクワ音楽院で学ぶ。1980年ショパン国際コンクールでアジア出身初の優勝を果たし大きな注目を集めた。これまでマリナー、ヤンソンス、ブリュッヘン、アシュケナーズら巨匠の指揮で、レニングラード・フィル、ベルリン国立歌劇場管、パリ管、BBCフィル、チェコ・フィルなど世界の著名楽団と共演を重ねる。2018年ポーランド文化の貢献者に贈られる最高位「文化功労勲章」金章を受章。現在、米国オバリン音楽院、カナダ・モントリオール大学などで教鞭を執りブルース・リウをはじめ多くのコンクール優勝者を輩出し次代の育成にも注力している。読響との共演は1995年以来4回目。

©佐藤寛敏

読売日本交響楽団 第639回 定期演奏会

2024年 6月14日(金) 19時開演

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

サントリーホール

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥8,000 / A ¥7,000 / B ¥6,000 / C ¥4,500

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

読響チケットWEB

*座席選択可/チケット郵送料無料

<https://yomikyo.pia.jp/>



学生券/学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合がございます。 ■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

プレイガイド

読響ホームページ

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

<https://yomikyo.or.jp/>